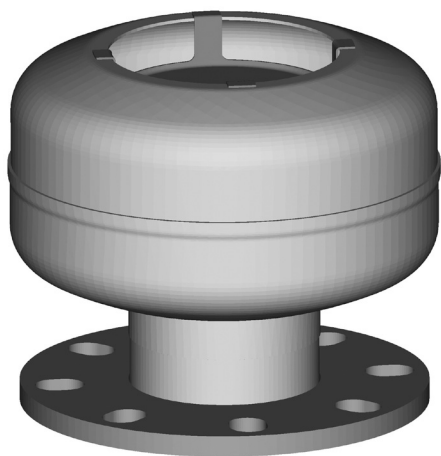


VHT
ベントヘッド
取扱説明書



1. 安全に関する情報
2. 一般製品情報
3. 設置
4. 試運転
5. 運転
6. 保守

1. 安全に関する情報

本製品の安全な運転は、取扱説明書に従い、資格を有する担当者（1.11項参照）が適切に設置・試運転・使用・保守を行った場合にのみ保証されます。配管およびプラント設備の一般的な施工・安全指示に加え、工具と保護具の正しい使用についても必ず遵守してください。

1.1 用途

設置および保守手順書、銘板、技術情報シートを参照し、製品が意図された用途／アプリケーションに適していることを確認してください。

これらの製品は、欧州圧力機器指令2014/68/EUの要件に準拠しており、「SEP」カテゴリーに分類されます。

なお、「SEP」に分類される製品は、指令により  マークを付さないことが義務付けられています。

- i) 本製品は、前述の「圧力機器指令（PED）」におけるグループ2に該当する流体（蒸気、空気、または水／ドレン）への使用を前提に設計されています。その他の流体への使用も可能な場合がありますが、その際は、検討中の用途に対する本製品の適合性について、スパイラックス・サーコにご確認ください。
- ii) 材質の適合性、圧力、温度、およびそれらの最大値と最小値を確認してください。製品の最大使用限界が、その製品を組み込むシステムの限界よりも低い場合、あるいは製品の不具合によって危険な過圧や過温が発生する恐れがある場合は、そのような限界超過を防止するための安全装置をシステムに組み込んでください。
- iii) 正しい設置条件と流体の流れ方向を確認してください。
- iv) スパイラックス・サーコの製品は、それらが組み込まれるシステムによって生じ得る外部応力に耐えるようには設計されていません。こうした応力を考慮し、それを最小限に抑えるための適切な予防措置を講じることが、設置者の責任となります。
- v) 蒸気やその他の高温用途に設置する前に、必要に応じて、すべての接続部の保護キャップおよびすべての銘板の保護フィルムを取り外してください。

1.2 アクセス

本製品での作業を行う前に、安全なアクセス経路を確保し、必要に応じて（適切な防護措置が施された）安全な作業用足場を設けてください。また、必要に応じて適切な吊り上げ機器を手配してください。

1.3 照明

十分な照明を確保してください。特に、細部までの確認や精密な作業が必要な場合は注意してください。

1.4 配管内の危険な液体または気体

現在配管内にあるもの、あるいは過去に配管内にあった可能性のあるものについて確認してください。具体的には、可燃性物質、健康に有害な物質、極端な温度（高温・低温）などが挙げられます。

1.5 製品周辺の危険な環境

以下の点に留意してください：爆発の危険がある場所、酸素欠乏（タンクやピットなど）、有害なガス、極端な温度、高温の表面、火災の危険（溶接作業中など）、過度の騒音、可動する機械設備。

1.6 システム全体

予定された作業がシステム全体におよぼす影響を考慮してください。提案された措置（例：遮断弁の閉止、電気的な遮断など）によって、システムの他の部分や作業員に危険がおよぶ可能性はないでしょうか。

危険な状況としては、通気口や保護装置の隔離、あるいは制御装置や警報装置の機能停止などが考えられます。システムへの衝撃（ショック）を防ぐため、遮断弁の開閉は緩やかに行うようにしてください。

1.7 圧カシステム

圧力源を確実に遮断し、安全に大気圧まで放圧してください。二重遮断（ダブルブロック&ブリード）や、閉止したバルブの施錠・表示を行うことを検討してください。圧力計がゼロを示していても、システム内の圧力が完全に抜けているとは判断しないでください。

1.8 温度

火傷の危険を避けるため、隔離後は温度が落ち着くまで十分な時間を確保してください。

1.9 工具および部品

作業を開始する前に、適切な工具や部品が用意されていることを確認してください。交換部品には、必ずスパイラックス・サーコ純正品を使用してください。

1.10 防護服（保護具）

あなたや近くにいる人が、化学物質、高温/低温、放射線、騒音、落下物、目や顔への危険などから身を守るために防護服（保護具）を必要とするかどうか検討してください。

1.11 作業許可

すべての作業は、適切な能力を有する者が実施または監督する必要があります。設置および操作を行う担当者は、「取扱説明書」に従い、本製品の正しい使用方法について教育を受けている必要があります。

正式な「作業許可」制度が導入されている場合は、その規定を遵守しなければなりません。そのような制度がない場合でも、責任者が作業内容を把握し、必要に応じて、安全確保を主たる任務とする補助者を配置することが推奨されます。

必要に応じて「警告表示」を掲示してください。

1.12 取り扱い

大型または重量のある製品を手作業で取り扱おうと、怪我をする恐れがあります。人力で荷物を持ち上げる、押す、引く、運ぶ、あるいは支えるといった行為は、特に背中や腰の負傷につながる可能性があります。作業内容、作業者、荷物、および作業環境を考慮してリスクを評価し、状況に応じた適切な取り扱い方法を採用することをお勧めします。

なお、吊り上げ用ストラップが必要な場合は、機器の損傷を防ぐため、パッフルプレートの脚部にストラップを掛けることを推奨いたします。

1.13 残留する危険性

通常の使用において、本製品の表面が非常に高温になることがあります。

1.14 凍結

本製品はセルフドレン（自動排水）構造のため、凍結に対する 保護は不要です。

1.15 廃棄

「取扱説明書」に別段の記載がない限り、本製品はリサイクル可能であり、適切な注意を払って処分する限り、廃棄に伴う環境への悪影響は想定されません。

本製品に含まれる可能性のある懸念物質に関する最新情報については、Spirax Sarcoの製品コンプライアンスに関するウェブページ (<https://www.spiraxsarco.com/product-compliance>) をご確認ください。当該ウェブページに追加情報が記載されていない場合、適切な注意を払うことで、本製品を安全にリサイクルおよび／または廃棄することが可能です。リサイクルや廃棄に関しては、必ずお住まいの地域の規制をご確認ください。

1.16 製品の返却

お客様および取扱店におかれましては、ECの健康・安全・環境に関する法規制に基づき、スパイラックス・サーコへ製品を返送する際、健康・安全・環境へのリスクをもたらす可能性のある汚染残留物や機械的損傷に起因する危険性および必要な予防措置に関する情報を提供していただく必要があります。当該情報は、有害または有害となる可能性のある物質に関する「健康・安全データシート (SDS)」を含め、書面にて提供されなければなりません。

2. 一般製品情報

2.1 概要

スパイラックス・サーコのVHTベントヘッドは、垂直に立ち上がった開放端の蒸気ベント配管に取り付けるよう設計されています。このベントヘッドは乾き蒸気を安全に大気中へ放出するため、作業員への不快感や負傷、あるいは建物への損傷といった事態を回避できます。

ベントヘッドには、蒸気に含まれる水分を分離するための内部バッフルが組み込まれています。

主な特徴：

- 効率的な分離
- 本体はメンテナンスフリーで長寿命なステンレス鋼製
- 一般的な用途に適した、シンプルかつ効果的なベントヘッド
- フランジ接続：EN 1092 PN16 または (ANSI) ASME 150 に概ね準拠

用途

ベントヘッドは、ブローダウン容器、ドレン回収容器、ボイラ給水タンク、貯湯槽などに最適です。

警告： ベントヘッドを安全弁の出口に使用してはなりません。

ベントヘッドは、ベント配管と同じ呼び径で選定してください。

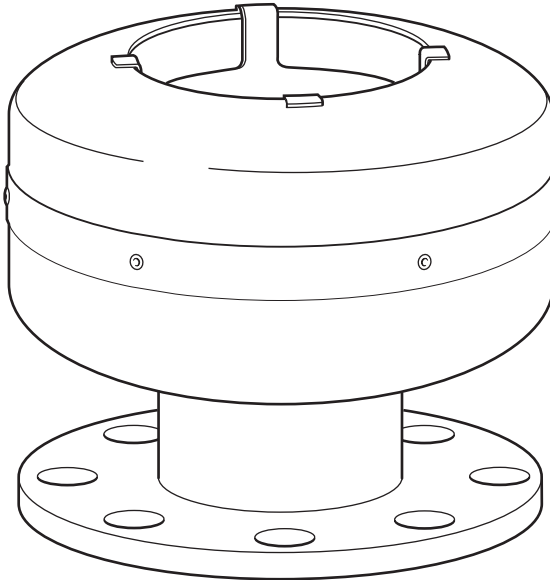


図.1 VHT4 100A (図示)

VHT ベントヘッド

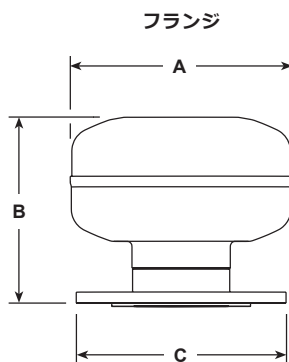
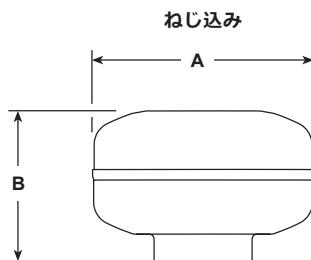
spirax
sarco

2.2 口径および配管接続

型式	口径		入口接続部
VHT2	50A	2"	ねじ込み BSP T Rp (ISO 7-1)
			ねじ込み NPT
VHT3	80A	3"	ねじ込み BSP T Rp (ISO 7-1)
			ねじ込み NPT
			フランジ接続 EN 1092 PN16 または (ANSI) ASME 150
VHT4	100A	4"	フランジ接続 EN 1092 PN16 または (ANSI) ASME 150
VHT6	150A	6"	フランジ接続 EN 1092 PN16 または (ANSI) ASME 150
VHT8	200A	8"	フランジ接続 EN 1092 PN16 または (ANSI) ASME 150
VHT10	250A	10"	フランジ接続 EN 1092 PN16 または (ANSI) ASME 150
VHT12	300A	12"	フランジ接続 EN 1092 PN16 または (ANSI) ASME 150

2.3 寸法/重量 (概算) mm および kg

型式	A	B	C	重量
VHT2	203	137	-	2.08
	203	137	-	2.08
VHT3	203	145	-	2.70
	203	145	-	2.70
	203	173	192	3.65
VHT4	304	237.0	224	6.31
VHT6	403	302.5	280	10.76
VHT8	403	314	334	12.28
VHT10	503	372.5	406	19.17
VHT12	503	343.5	483	22.29



VHT ベントヘッド

spirax
sarco

3. 設置

注記：設置作業を行う前に、第1章の「安全に関する情報」を必ず確認してください。

取扱説明書、銘板、および技術仕様書を参照し、本製品が予定の設置条件に適合していることを確認してください。

3.1 材質、圧力、温度、およびそれらの最大値を確認してください。本製品の最大使用限界が、取り付け先のシステムより低い場合は、過剰な圧力の上昇を防ぐための安全装置が組み込まれていることを確認してください。

3.2 適切な設置状況および流体の流れの方向を確認してください。

3.3 蒸気やその他の高温用途に設置する前に、必要に応じて、すべての接続部から保護キャップを、またすべての銘板から保護フィルムを取り外してください。

3.4 ねじ込み式およびフランジ式のベントヘッドの取り付けは比較的容易です。フランジ式ベントヘッドには、指定されたフランジ規格に適合するよう穴あけ加工が施された軽量フランジが採用されています。推奨締め付けトルクについては表1を参照してください。本製品は、その設計上、ドレン（排水）設備を必要としません。

表 1 推奨締め付けトルク

	VHT3	VHT4	VHT6	VHT8	VHT10	VHT12
V 1 1 1 1 1 1	60 N m	60 N m	60 N m	70 N m	70 N m	70 N m

吊り上げ用ストラップが必要な場合は、機器の損傷を防ぐため、パッフルプレートの脚部にストラップを掛けることを推奨いたします。

注記：フランジのボルト穴はPN16およびA150のPCDに対応できるよう長穴（スロット穴）加工されていますが、場合によってはすべてのボルト穴を使用できないことがあります。

4. 試運転

設置後または保守作業後は、システムが正常に作動していることを確認してください。警報装置や保護装置がある場合は、必ず試験を実施してください。

5. 運転

VHTベントヘッドは、垂直に立ち上がった開放端の蒸気ベント配管に適しています。本製品は、乾き蒸気を低流速で安全に大気中へ放出するよう設計されており、作業員の負傷や建物の損傷を防ぐとともに、周囲への水しぶきによる影響を最小限に抑えます。

ベントヘッドに流入した蒸気は、内部のディスクに沿って導かれ、強制的にトロイダル（ドーナツ状）渦を形成します。これにより、蒸気に含まれた水滴は外側へと弾き飛ばされ、ベントヘッドの内壁面に付着（ウェットアウト）します。付着した水滴は互いに合体しながら、トロイダル渦の下向き回転によって内部のドレン排出口へと押し流されていきます。

6. 保守

排出口が異物によって塞がれていないことを確認するため、年1回の点検を行うことを推奨します。

ご注意ください。 VHT には、保守・交換が可能な部品はありません。

BLANK PAGE

お問い合わせは下記営業所もしくは取扱い代理店までお願いいたします。

スパイラックス・サーコ合同会社



営業部 イーストリージョン	■電話 043-274-4811	■FAX (043)274-4818	■住所 〒261-0025	千葉市美浜区浜田2-37
営業部 ウエストリージョン	■電話 06-6681-8921	■FAX (06)6681-8925	■住所 〒559-0011	大阪市住之江区北加賀屋2-11-8 北加賀屋千島ビル203号
技術部	■電話 043-274-4819	■FAX (043)274-4818	■住所 〒261-0025	千葉市美浜区浜田2-37

取扱説明書の内容は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。
※2023年1月4日より社名が変更しました。